

我が国TV産業は、世界販売シェアで韓国勢に押されている。また、国内では、7月のアナログ終了以降、国内市場が停滞する傾向が見られる。



国際競争力を取り戻し、韓国勢に勝つためには“次のTV”を速やかに開発する必要がある。



有望な候補としては、“通信・放送融合型TV”(スマートTV)がある。15年以上も期待されながらモノになっていないが、ブロードバンドの普及、機器の性能向上など環境が成熟してきた。



現在あるGoogleTVやAppleTVは、第1世代のスマートTVであり、NHKが開発を進めているHybridcast™は、第2、第3世代のスマートTVとなる。

薄型テレビの世界販売シェアの推移

(金額ベース)
(米ディスプレイサーチ調べ)

